

令和3年度（2021年度）
教育委員会事務 点検・評価

（令和2年度（2020年度）実施事業）

資 料 編

鎌倉市 学校職場環境改善プランⅡ

令和3年（2021年）3月
鎌倉市教育委員会

目 次

1	プランⅡの策定について	・・・1
2	プランⅡの目的	・・・1
3	プランⅡの目標	・・・1
4	プランの進捗状況について	・・・2
5	プランⅡの期間	・・・3
6	その他	・・・3
7	プランの取組内容	・・・3
	(1) 業務改善に向けた取組	・・・3
	(2) 人的配置による支援の取組	・・・6
	(3) プランの推進のための取組	・・・7
	(4) 快適に過ごせる環境整備に向けた取組	・・・8
8	プラン策定後の安全衛生の取組について	・・・9
9	学校業務改善アドバイザーから	・・・9

1 プランⅡの策定について

教職員の職場環境改善を目的として、平成30年（2018年）2月に「学校職場環境改善プラン」を策定し、平成30年度（2018年度）から令和2年度（2020年度）の3年間、目標達成に向けて取組内容の実施に努めてきました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、取組内容の一部が未実施ではあるものの、それ以外の取組はおおむね予定どおりに進行しています。

プランに示した取組が着実に実施できているか、令和2年（2020年）6月、教職員勤務実態調査※を行い、前回の数値及び自由記述から改善の傾向にあるか確認しました。

その結果では、前回平成29年（2017年）7月に実施した同じ調査結果と比較し、教職員の時間外勤務の減少や、休暇取得日数の増加など、負担が軽減されている状況が伺えました。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休校の影響を避けるため、同年1～2月の状況を回答

ただし、職種によって、自宅での作業時間の増加や、教頭職の休息時間の減少など、新たな課題も見えてきています。また、自由記述では、会議の回数の多さ、時間の長さについての指摘や、分掌業務の負担や特定の教員への偏りについての不満等が挙がっています。

問題点は、挙げればきりがありますが、衛生懇談会や安全衛生協議会で議題として採り上げ、検討することにより、校内体制等で解消できるものもあります。

今後も、更なる取組の継続が必要となることから、現在の取組の効果を検証するとともに、見直し・検討を行い、プランⅡとして策定するものです。

2 プランⅡの目的

教職員が心身ともに健康を維持し、教職の喜びを感じながら、生き生きと働くことができる職場づくりを進め、子どもたちとしっかり向き合う時間や自己研鑽できる時間を確保することによって子どもたちの健やかな育ちにつなげることを目的とします。

3 プランⅡの目標

今回の調査の結果、当初プランに掲げた目標については、ほぼ全てにおいて改善されていることが確認できました。

このことを踏まえ、プランⅡの目標は次のとおりとします。

目標を達成するためには、教育委員会による環境整備とともに、管理職及び教職員自らの意識改革がとても重要です。今後も取組を継続することにより、より一層の職場環境改善を図っていきます。

- (1) 退勤時間が早まること
- (2) 時間外勤務が減少すること（数値目標設定）**
- (3) 自宅での業務時間が減少すること
- (4) 勤務を要しない日（土・日・祝日）の出勤が減少すること
- (5) 休暇（年次休暇）の取得状況が改善されること **（数値目標設定）**
- (6) 休憩時間の過ごし方が改善されること
- (7) 出退勤管理によって働き方が見直されること
- (8) 部活動の負担が軽減されること**
- (9) 小学校給食の公会計化により時間的・精神的負担が軽減されること**
- (10) ICTを活用し業務を効率化すること**

4 プランの進捗状況について

達成できたプランの取組内容については、次のとおり。 ※西暦は省略

	取組内容	実施	○効果 と ●課題
(1) 業務改善に向けた取組	ア 出退勤時刻の管理	- 令和元年9月、中学校で校務支援システムにより実施開始 - 令和元年11月、小学校でPCとICカードにより実施開始	○月ごとの時間外勤務が容易に把握でき、業務内容の振り返りができる ●公費での全教職員へのICカード配付（小学校）
	イ 夏季休業中の閉校日の設定	- 平成30年度、試行的に全校実施、特に問題は出ず - 令和元年度以降、毎年度実施で調整	○市内全25校一律に実施による確実な休暇取得 ●休暇を取得しなければならない
	ウ 夜間の留守番電話の設定	平成30年7月、留守番電話設定（小17時頃、中18時頃）	○業務に集中できるため非常に有益
	エ 部活動の休養日の設定	- 平成30年7月、部活動検討委員会設置、ガイドライン策定 - 平成31年4月以降、休養日設定	○休養日を設定し、時間外勤務の減少につながった
	ク 調査・報告依頼の精選	市への提出文書のうち職印が必要なものの精選	○職印が必要な文書の削減
(2) 人的配置	ア 小中一貫教育推進のための市費非常勤講師の配置拡充	平成30年度、非常勤講師を4名配置、令和元年度に6名配置	○小中一貫教育の推進
(4) 環境整備	イ 学校トイレの改修の実施	令和2年度、計画を前倒しし、で全小中学校トイレ（建設以来、未改修のもの）改修終了	○快適な環境整備
	ウ 教室への冷房設備の設置	令和元年度、小中学校全校の普通教室に冷房設備設置完了	○快適な環境整備
(5) その他	ア 学校安全衛生委員会の設置	- 平成30年11月、鎌倉市立学校教職員安全衛生管理規程を制定、安全衛生協議会を設置、学校訪問試行 - 平成31年4月、各学校で月1回の衛生懇談会開始 - 令和元年5月、第1回安全衛生協議会開催	○学校訪問時、学校訪問産業医による職場環境改善への助言 ○長時間勤務者や精神面の不調を訴える教職員への面接指導 ○衛生懇談会結果に基づき、安全衛生協議会での職場環境改善の検討 ●取組の周知が不十分

5 プランⅡの期間

プランⅡの計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）の3年間とします。

6 その他

学校における働き方改革の推進に伴い、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」が改正（令和元年（2019年）12月11日公布）され、同法第7条に基づいて、文部科学大臣が、教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針を定めました。

これに伴い、県教育委員会及び市町村教育委員会においても、その所管に属する教育職員の在校時間の上限等に関する方針を定めることとされたため、「鎌倉市立学校の教育職員の業務量の管理に関する規則」を制定し、令和2年（2020年）7月1日から施行しています。

内容については、教育職員の健康及び福祉の確保を図り、もって学校教育の水準の維持向上に資することを目的とし、教育職員の業務時間について、業務を行う時間から所定の勤務時間を除いた時間を、原則、1か月において45時間以内、1年において360時間の範囲内とするよう、教育委員会が適切な管理を行うものとしています。

各学校において、管理職は、学校経営方針に働き方改革の視点を盛り込み、教職員の職場環境向上のための適切なマネジメントを進めるとともに、教職員はワーク・ライフ・バランスを十分に意識しながら業務に取り組むことが大切です。

7 プランの取組内容

（1）業務改善に向けた取組

ア 校内業務の見直し【新規】

教職員が時間外勤務について客観的方法で把握できるようにするため、令和元年度（2019年度）から、小・中学校においてシステムによる出退勤管理を行い、業務の状況の振り返りや、働き方の見直しを進めています。

今後は、各学校において特定の曜日についてノー残業デーの実施、校内会議の回数削減等、業務の見直しに向けた具体的な取組の導入について、検討を進めます。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計 画	○校務支援システムにより、小中学校全校で出退勤管理実施		
	○時間外勤務削減に向けた取組の検討（衛生懇談会の活用）	○取組を全小中学校で実施	
	○各学校で取組の設定		
	会議の持ち方の工夫、校務分掌の見直し、行事等の精選、教材の共有化等、数値目標設定等		

イ 部活動指導員の導入（中学校）【新規】

部活動については、スポーツ庁の部活動ガイドラインや神奈川県教育委員会の方針に基づき、「鎌倉市の部活動の在り方に関する方針」を策定し、活動時間や休養日の設定について取組を実施しました。

また、教員の負担軽減や生徒の発達を踏まえた適切な指導に向けて、部活動検討委員会を開催し、部活動指導者の導入等について継続して検討を行います。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計 画	○休養日設定の確認 ○部活動検討委員会実施		
	○負担軽減に向けた新たな取組（部活動指導員の導入等）検討		

ウ 校務支援システムの活用（小学校）【新規】

業務の効率化を図るため、小・中学校において一人一台の校務用パソコンの配備し、中学校では校務支援システムを導入・活用しています。小学校においても校務支援システムを拡充することによって様々な文書をデータ化するなど事務の効率化を図ります。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計 画	○小学校で校務支援システム運用開始 ○研修等実施	○小・中学校全校運用	

エ ICTの導入（デジタル教科書、AIドリル、クラウド等の活用）【新規】

ICTを活用することで、効率よく授業の準備や校務を行うことができます。教員への一人一台のiPadや各教室への大型モニターを配備するとともにGIGAスクールサポーターを配置します。また、クラウドサービスやAIドリル、指導者用デジタル教科書を順次導入します。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計 画	○教員に一人一台のiPad配付	各教室への大型モニター	GIGAスクールサポーター
	○クラウドサービスの活用		
	○AIドリル 全校導入		
	○指導者用デジタル教科書（推進校）	○指導者用デジタル教科書（全校導入）	

オ ICTスキル向上のための研修の実施【新規】

教職員の多忙化解消に向け、ICTを活用した校務や教育活動のスキルを身につけるためのGIGAスクール構想に対応した研修を実施し、教職員のICTスキルの向上を支援します。

	【令和3年度】	【令和4年度】	【令和5年度】
計	○市センター企画研修会・学校支援研修会の実施・自己研修のための研修コンテンツの提供		
画	○全小中学校を対象としたGIGAスクール校内研修会の実施		

カ 就学援助の現物給付化（小学校給食）【継続】

就学援助制度対象世帯への給食の現物給付について検討を行います。これにより、給食会計事務における対象世帯に関する収納及び喫食の確認や教育委員会への報告等の事務負担の軽減を図ります。

	【令和3年度】	【令和4年度】	【令和5年度】
計	○課題整理、制度設計 ○要領改正 ○保護者周知		
画		就学援助（小学校給食）の現物給付化	

キ 給食会計の公会計化（小学校）【継続】

学校給食費の徴収・管理等の業務は、教職員にとって時間的にも精神的にも負担の大きな業務です。公会計化により、教職員が授業改善のための時間や児童・生徒に向き合う時間を増やすことにつながります。

	【令和3年度】	【令和4年度】	【令和5年度】
計	○システム選定、導入、開発、テスト ○制度設計、体制整備 ○条例規則整備、マニュアル整備 ○保護者周知、口座情報登録		
画			

（２）人的配置による支援の取組【継続】

ア 小中一貫教育推進のための会計年度任用職員の配置拡充【継続】

小学校の学習指導要領で新たに教科として位置づけられた外国語（英語）について、その円滑な導入に向けて、中学校英語の教員免許を持つ会計年度任用職員を平成 30 年度は 4 名、令和元年度には 6 名を配置し、小学校において授業を実施してきました。引き続き、配置の拡充を図っていきます。

	【令和 3 年度】	【令和 4 年度】	【令和 5 年度】
計			
画	○各校の実態に応じた会計年度任用職員各職の配置、雇用管理		

イ 様々な人的支援の継続・配置【継続】

教育委員会ではこれまで、学級支援員や、学校介助員、スクールアシスタント、少人数指導の充実のための市費非常勤講師等の配置など、学校への人的支援を行ってきました。

学校における教育相談体制の構築のために、今後も、人的支援の継続に向けて検討していきます。

	【令和 3 年度】	【令和 4 年度】	【令和 5 年度】
計			
画	○教育相談員の担当校派遣日数を月 2 日・巡回訪問相談拡大（園・小学校・中学校） ○スクールソーシャルワーカーの拡充		

<参考：人的支援の状況>

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
学級介助員	37 人	40 人	62 人
学級支援員	11,000 時間	11,000 時間	(従来 42 人、学級支援員の統合 20 人)
スクールアシスタント	16 人	16 人	16 人
宿泊行事介助員	45 人	30 人	廃止
市費非常勤講師	10 人	9 人	11 人
心のふれあい相談員	3,360 時間	3,408 時間	※教育相談員と統合
教育相談員	小学校に月 1 日	小学校に月 1 日	小学校に月 2 日
スクールカウンセラー（県）	2,450 時間	2,450 時間	2,457 時間
スクールソーシャルワーカー(市)	504 時間	504 時間	756 時間
スクールソーシャルワーカー(県)	245 時間	245 時間	245 時間

(3) プランの推進のための取組

ア プラン推進体制の整備【継続】

計画の進捗状況を管理する中で、取組の成果を検証し改善を図るために、教育委員会に職場環境改善実行委員会を設置します。必要に応じて校長会等から学校現場の意見を得ながら本プランを推進します。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計 画	○半年ごとの計画の進捗状況管理		○3か年の効果検証・プラン見直し
	○年間の取組成果の検証		

イ 安全衛生体制の推進【継続】

教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成促進について市教育委員会と各小中学校が一体となって総括的に取り組むため、平成30年（2018年）11月、鎌倉市立学校教職員安全衛生管理規程を制定し、安全衛生協議会を設置しました。

各学校で取り組む衛生懇談会の報告や、学校訪問産業医による学校訪問の報告をもとに、現状の改善策について協議会で検討し、教職員が教育活動に専念できる環境づくりを進めます。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計 画	○衛生懇談会実施（各学校）		
	○鎌倉市立学校教職員安全衛生協議会開催（年2回開催）		
	○学校訪問産業医訪問相談実施		

ウ 地域・関係機関との協働【新規】

各学校の地域性を生かした鎌倉版コミュニティ・スクールを実践し、児童生徒、保護者、地域、教職員がわくわくするような学校づくりが可能となるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動を実施・運営します。

学校と地域社会の連携が進み、学校運営に対しての「当事者意識」を分かち合うことで、地域とともに学校運営を行う環境づくりを推進します。

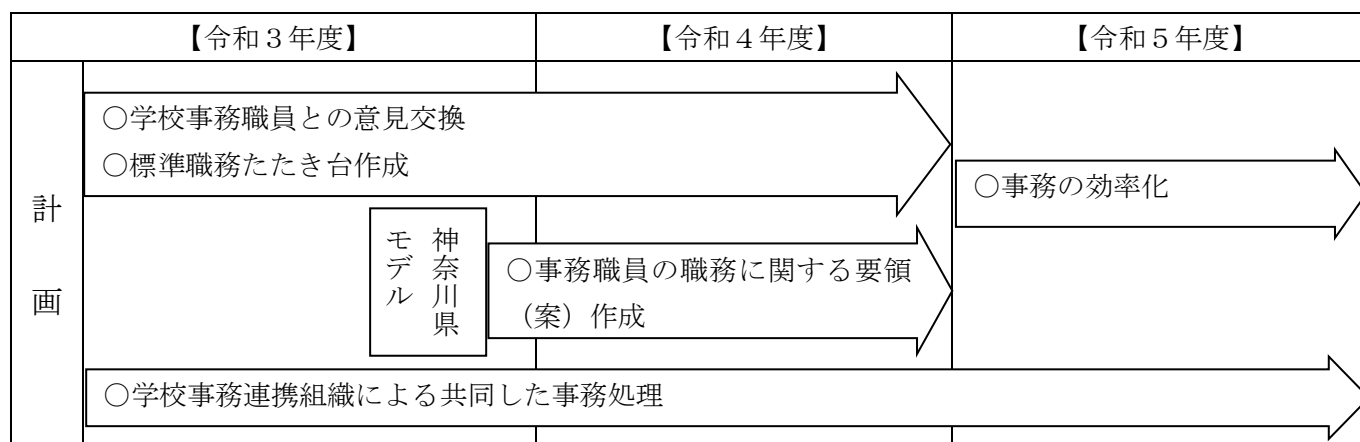
また、スクールラボファンドを活用し、外部機関等と協働して様々な人材を配置します。

【令和3年度】		【令和4年度】	【令和5年度】
計	○鎌倉版コミュニティ・スクール設置に向けた検討	○鎌倉版コミュニティ・スクールの運営	
		○1中学校ブロックの各校に地域学校協働活動推進員の配置	○3中学校ブロックの各校に地域学校協働活動推進員の配置
画	○スクールコラボファンドを活用した事業開始		
		○事業の順次拡大	

エ 事務職員の学校運営への積極的な参画【継続】

事務職員の職務については、平成 29 年（2017 年）4 月 1 日に施行された学校教育法の改正により、「事務を処理する」から「事務をつかさどる」へ見直しが行われ、学校における唯一の総務・財務に通じる専門職として、今後ますます学校運営への参画が求められています。令和 2 年（2020 年）7 月に文部科学省は「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等」を示しました。それを受けて神奈川県はモデル案を作成する予定です。

事務職員のさらなる活躍や事務処理の効率化を図るため、標準職務の要領制定及び関係規則等の整備を行うとともに、学校事務連携組織による共同した事務処理を積極的に進めていきます。



（４）快適に過ごせる環境整備に向けた取組

ア 学校施設の改築・長寿命化改修等【継続】

学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修や建替えが必要となっていることから、平成 29 年度（2017 年度）から平成 30 年度（2018 年度）にかけて実施した学校施設の老朽化状況調査の結果等を踏まえて改築や長寿命化改修の方向性案を示す「学校整備計画」を策定します。また、子どもたちや教職員が安全に安心して学校生活を送ることができるよう、学校施設を適切に管理し、計画的な整備を進めます。



8 プラン策定後の安全衛生の取組について

学校における教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的として、鎌倉市立学校教職員安全衛生協議会を設置し、各学校の衛生懇談会の実施結果やプランの進捗についての報告をもとに、取組内容を検討しています。

【平成 30 年度（2018 年度）】

- 学校訪問相談試行（小学校 2 校、中学校 1 校実施）
- 鎌倉市立学校教職員安全衛生管理規程制定（11 月）
- 鎌倉市立学校教職員安全衛生協議会設置準備（委員選定等）

【令和元年度（2019 年度）】

- 各学校において衛生懇談会の実施（4 月～毎月実施、市教委に報告書提出）
- 鎌倉市立学校教職員安全衛生協議会開催（5 月、1 月）
- 学校訪問相談実施（小学校 3 校、中学校 1 校）

【令和 2 年度（2020 年度）】

- 教職員の勤務実態調査アンケート実施（6 月）
- 鎌倉市立学校教職員安全衛生協議会開催、アンケート結果の検証（7 月）
- 鎌倉市学校職場環境改善プラン見直し、プランⅡ策定の検討（7 月～）
- 学校訪問相談実施（小学校 2 校、中学校 1 校）

9 学校業務改善アドバイザー 妹尾昌俊氏から

いまの子どもたちに大切な力（資質・能力）って、どんなものでしょうか？

さまざまな答えがあっているのですが、世の中がめまぐるしく変化するなか（新型コロナの影響がまさにそうですね）、ものごとをしっかりと考える力や問題解決等に向けて主体的に行動できることの重要性は、一層高まっていると思います。

さて、学校の職場環境改善や働き方改革は、なにも残業時間が減ればそれでいい、というものではありません。趣旨は本プランの冒頭でも明記されていますが、少しわたしなりに言い換えれば、それは、先生たちがクリエイティブに楽しく考える時間を増やすためです。「こんな授業や行事ができるといいな」と企画したり、プライベートなことを充実させたりすることは、ひいては、教育活動にもプラスの影響があります。

学校には、やることがたくさんありますよね。でも、少し立ち止まって「これってなんのためかな」、「前例踏襲で続けることが目的化していたかもしれない」、「本当に子どもたちのためになっているだろうか」、「もっと別の方法があるんじゃないか」など考えて、学校内外で対話して、ちょっとしたことからでも行動していけると、ずいぶん変わっていきます。

子どもたちに思考力等を期待する前に、大人のわたしたちが同じ 21 世紀を生きる者として、学び続け、考える力を高めながら、問題解決等を進めていきましょう。

***** 学校業務改善アドバイザー 妹尾昌俊氏プロフィール *****

野村総合研究所を経て 2016 年から独立し、文科省での講演のほか全国各地の管理職研修、教職員研修などを手がけている。中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員などを歴任。

令和3年(2021年)4月1日現在

令和2年度 教育センター相談室 利用状況(年間)

表1 相談人数

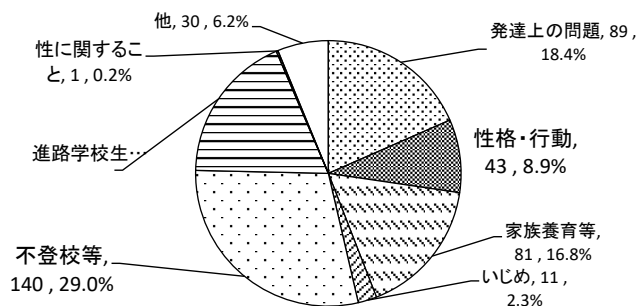
学齢等 内容	未就学	小学校	中学校	高校	有職者	無職者	他	合計
発達上の問題	8	68	11	2				89
性格・行動	3	30	10					43
家族養育等	2	59	16	3			1	81
いじめ		7	2	2				11
不登校等	1	73	57	6		3		140
進路学校生活等	8	50	21	6		2	1	88
性に関すること		1						1
他	4	10	6	3	1		6	30
合 計	26	298	123	22	1	5	8	483

相談件数

学齢等 内容	未就学	小学校	中学校	高校	有職者	無職者	他	合計
発達上の問題	18	411	126	9				564
性格・行動	6	122	39	6				173
家族養育等	8	283	129	40			1	461
いじめ		28	3	2				33
不登校等	1	492	570	24		4		1,091
進路学校生活等	29	257	83	23		8	1	401
性に関すること		5						5
他	5	20	19	5	2	1	6	58
合 計	67	1,618	969	109	2	13	8	2,786

グラフ1

相談人数(内容別)



相談件数(内容別)

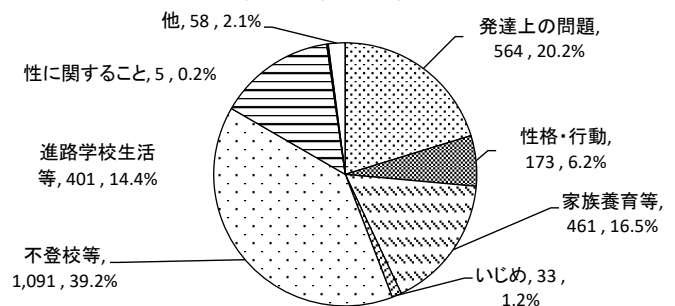


表2 内容別相談人数 年度別状況

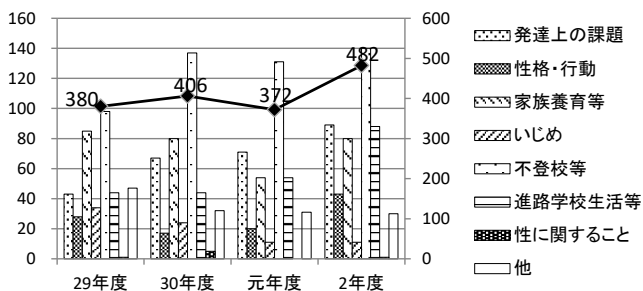
年度 内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
発達上の課題	43	67	71	89
性格・行動	28	17	20	43
家族養育等	85	80	54	81
いじめ	34	24	11	11
不登校等	98	137	131	140
進路学校生活等	45	44	54	88
性に関すること	1	5		1
他	46	32	31	30
合 計	380	406	372	483

内容別相談件数 年度別状況

年度 内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
発達上の課題	111	350	302	564
性格・行動	110	75	104	173
家族養育等	511	390	226	461
いじめ	89	35	28	33
不登校等	805	1,066	841	1,091
進路学校生活等	105	163	231	401
性に関すること	2	9		5
他	202	180	81	58
合 計	1,935	2,268	1,813	2,786

グラフ2

内容別相談人数 年度別状況



内容別相談件数 年度別状況

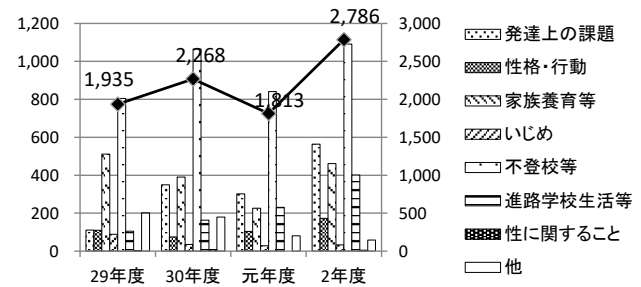


表3 教育支援教室ひだまり利用状況

内容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開室日数		1	0	22	21	11	20	22	19	19	17	18	19	189
人 数	小学生	0	0	2	2	2	2	4	4	5	5	6	6	38
	中学生	0	0	8	8	8	8	9	9	11	11	11	12	95
	計	0	0	10	10	10	10	13	13	16	16	17	18	133
延べ 通室日数	小学生	0	0	5	26	6	26	51	43	32	39	39	31	310
	中学生	0	0	90	85	28	49	53	56	79	60	62	59	621
	計	0	0	95	111	34	75	104	99	122	92	101	98	931
一日当たり 平均通室人数	小学生	0.00	0.00	0.23	1.24	0.55	1.30	2.32	2.26	2.26	1.88	2.17	2.05	1.64
	中学生	0.00	0.00	4.09	4.05	2.55	2.45	2.41	2.95	4.16	3.53	3.44	3.11	3.29
	計	0.00	0.00	4.32	5.29	3.09	3.75	4.73	5.21	6.42	5.41	5.61	5.16	4.93

令和2年度スクールカウンセラー相談実績

1 相談件数

内容分類	① 不登校	② いじめ	③ 暴力	④ 児童 虐待	⑤ 友人・ 異性 関係	⑥ 貧困	⑦ 非行	⑧ 家庭環 境（④⑥ を除く）	⑨ 教職員 との 関係	⑩ 心身の 健康・ 保健	⑪ 学業・ 進路	⑫ 発達	⑬ その他	合計
学年等														
小学校	1年	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
	2年	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4	6	16
	3年	3	0	0	0	2	0	2	1	0	0	0	5	13
	4年	4	0	0	0	8	0	0	0	0	4	8	0	24
	5年	14	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	1	20
	6年	22	11	0	2	19	0	2	0	12	3	10	5	86
	小学生 合計	45	11	0	2	29	0	13	1	14	9	24	17	165
	保護者	75	11	1	0	31	0	6	4	27	25	47	19	246
	教職員	84	5	1	1	27	0	23	9	40	36	67	41	334
中学校	1年	46	0	0	0	20	0	19	0	19	3	18	7	132
	2年	49	0	0	0	11	0	0	1	51	6	6	3	127
	3年	99	0	0	0	11	0	7	0	20	13	6	23	181
	中学生 合計	194	0	0	0	42	0	26	1	90	22	30	33	440
	保護者	222	0	0	3	50	0	14	12	92	35	92	16	538
	教職員	341	0	0	5	67	0	16	11	153	36	171	78	927
合計	961	27	2	11	246	0	32	119	38	416	163	431	204	2650

2 児童・生徒の相談後の状況（人数）※SSWや外部の専門機関との連携による対応も含む

人数\項目	① 不登校	② いじめ	③ 暴力	④ 児童 虐待	⑤ 友人・ 異性 関係	⑥ 貧困	⑦ 非行	⑧ 家庭環 境（④ ⑥を除 く）	⑨ 教職員 との 関係	⑩ 心身の 健康・ 保健	⑪ 学業・ 進路	⑫ 発達
ほぼ改善	11	1	0	0	30	0	1	6	5	21	13	24
やや改善	30	1	0	0	21	0	1	6	2	18	16	27
変化なし	16	0	0	1	7	0	0	8	1	10	1	15
中断	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1
合計	61	2	0	2	58	0	2	20	8	50	32	67

3 家庭訪問実施回数

不登校児童・生徒への対応として、家庭訪問を実施した回数について記載

	対象生 徒数	回数
小学校	0	0
中学校	0	0
合 計	0人	0回

4 研修会実施実績

講師として講話・ワークショップ等を実施した実績を記載

校種\項目	実施回数							延べ参加人数
	対象	教員		保護者	児童・生徒		合計	
		内※1			内※2			
小学校		0	0	0	0	0	0回	0
中学校		0	0	1	0	0	1回	11
合 計		0回	0回	1回	0回	0回	1回	11人

※1 教員のカウンセリング能力向上のための校内研修
 ※2 生徒の困難・ストレスへの対処等の教育プログラム

5 ケース会議等への参加実績 6 校内のスクールカウンセラー担当者

生徒指導・教育相談に関する
会議等への参加実績を記載

	回数
小学校	9
中学校	88
合 計	97回

以下の項目から3つまで選択して番号を記載 ※人数で記載

- 1 教育相談コーディネーター
- 2 養護教諭
- 3 生徒指導担当
- 4 管理職
- 5 その他（こちらを選んだら、下に役職名を記入してください。）

7	人
11	人
8	人
7	人

(役職名

)

令和2年度 教育相談員 小学校訪問時の活動状況

令和3年4月1日

	① 発 達 の 課 題	② 性 格 行 動	育 ③ 家 族 関 係 養	④ 家 庭 内 暴 力	⑥ い じ め	⑥ 不 登 校	⑦ ひ き こ も り	学 ⑧ 学 業 進 路 進	⑨ a 友 人 関 係	⑨ b 関 係 教 員 と の	⑨ c 学 校 生 活	⑩ 性	⑪ 対 人 関 係	⑫ ぐ 犯 犯 罪	⑬ そ の 他	合計
児童	145	59	40	1	0	35	0	46	42	7	232	0	0	0	46	653
保護者	174	49	101	2	8	130	0	47	43	17	96	2	4	0	17	690
教職員	872	274	415	4	38	358	1	176	125	36	523	8	13	0	114	2,957
その他	8	1	10	0	0	12	0	1	1	1	4	0	0	0	3	41
合計	1,199	383	566	7	46	535	1	270	211	61	855	10	17	0	180	4,341

〔相談、情報交換、授業見学について、カウントの仕方〕

- ① 情報交換（提供）は、気になる子として数人分一度にあれば、教職員/その他に1カウント。対応を依頼された子2人として、情報提供があれば児童/内容別に2カウント。
- ② 授業見学は、1クラス全体をみた場合、児童/その他に1カウント、クラスの中で対応を依頼された子ども2人を中心に観た場合、児童/内容別に2カウント
- ③ ケース会議は、教職員/その他に1カウント

令和2年度 心理検査（WISC-IV）実施状況

実施件数 13件（小学生 12件 中学生 1件）

- ・検査を実施後、保護者（希望があれば本人）にフィードバックし、その後学校に結果をフィードバックしている。
- ・保護者からの依頼があれば、医療機関等に検査結果を提供している。
- ・検査をするケースでは、検査の結果をお伝えした後に相談が継続するケースが少ないことが課題。検査後の継続的なかわり続けることで子どもや学校を支援していきたい。

研究研修事業

(1) 研究事業

ア 教育研究発表会

期 日	内 容	備 考
8月6日(木) 深沢学習センター ホール	○ 研究発表・講義 講師 横浜国立大学 教育人間科学部 教授 木村 昌彦 氏	研究員全員+各校1名+希望 ※中止

イ 幼児教育研究協議会

期 日	内 容 / 実践報告、協議	参加者
1月27日(水) 深沢学習センター	研究テーマに関する実践報告及び研究協議 (幼・こ・保・小連携) テーマ: 「育み、つなぎ、分かち合う～いきいきと活動し学ぶ姿の共有～」 * 内容変更 実践報告なし、教育長講話、地域別分科会	小学校各2名、 園各2名 ※いずれも中止

ウ 幼・こ・保・小交流事業担当者会

期 日	場 所	内 容	備 考
5月27日(水)	ひだまり 1 階会議室	今年度の幼・こ・保・小交流事業について	小学校交流担当者、 園希望者 ※中止

エ 調査研究年次計画

調査研究会	30 年度 (2018 年度)	R1 年度 (2019 年度)	R2 年度 (2020 年度)	R3 年度 (2021 年度)	研究内容
教育資料研究会	→		←	→	小学校社会科学習資料「かまくら」の改訂
教育課題研究会	→	→	←	→	「かまくらっ子の意識と実態調査」の活用
教育課程研究会	←	→			(R1 まで) 特別の教科 道徳
教科指導研究会	←	→			(R1 まで) 小学校外国語
情報教育研究会	←	→	←	→	GIGA スクールにおける ICT 活用
幼児教育研究会	→	←	→		幼・こ・保・小の連携

※ ←→ (太線) については令和2年度研究

オ 調査研究会・教育研究員

調査研究会	研 究 テ ー マ (内容要旨)
(1) 教育資料研究会 全6回(講師招聘1回) (1/2)	「小学校社会科学習資料『かまくら』の改訂」 小学校社会科学習資料『かまくら』のこれまでの内容を見直すとともに新たな時代に対応した内容の追加を検討する。
(教育研究員 小学校4名 中学校1名 計5名) 上山 慎太郎(御成小) 宮島 雅也(腰越小) 高坂 桂子(玉縄小) 川坂 愛(富士塚小) 村田 陽祐(大船中) 【指導助言者】 鎌倉市教養センター 文化教養活動担当 大橋 正一郎 氏	
(2) 教育課題研究会 全5回(講師招聘1回) (1/2)	「『かまくらっ子の意識と実態調査研究』第11集の活用」 「かまくらっ子の意識と実態調査」第11集の調査資料で挙げられた課題について、改善に向けた取組を研究し、実践を行う。
(教育研究員 小学校3名 中学校2名 計5名) 中村 千慧(稲村ヶ崎小) 小暮 直樹(山崎小) 横山 直人(西鎌倉小) 小島 雄樹(玉縄中) 山田 香菜子(腰越中) 【指導助言者】 筑波大学附属小学校 教諭 加藤 宣行 氏	
(3) 情報教育研究会 全6回(講師招聘1回) (1/2)	「GIGAスクール構想におけるICTの活用について」 タブレット一人一台体制におけるICTの活用の仕方について研究し、指導力向上にいかす。
(教育研究員 小学校3名 中学校2名 計5名) 吉田 麻梨奈(深沢小) 佐々木 渉(大船小) 大村 智秋(今泉小) 齋藤 雅行(第一中) 鈴野 江里(手広中) 【指導助言者】 さとえ学園小学校 教諭 山中 昭岳 氏	
(4) 幼児教育研究会 全6回(講師招聘1回) (2/2)	「遊びから学びへ～幼・こ・保・小の学びの連続性を探る～」 小一プロブレム解消に向けて、園での経験を小学校の学習へどう接続していくのか円滑な接続に向けての手立てを探る。
(教育研究員 小学校2名 公立保育園1名 私立保育園1名 幼稚園1名 計5名) 橋本 珠代(第一小) 西 童菜(七里ガ浜小) 坂齋 かほる(腰越保育園) 高山 保奈美(こばとナーサリー) 波入 佳菜(大船カトリック幼稚園) 【指導助言者】 鎌倉女子大学 教授 小泉 裕子 氏	

***新型コロナウイルス感染防止のため公開授業の自粛、研究会開催数の縮小**

(2) 研修事業

ア 実践的な指導力向上のための研修

【市教育センター企画研修会】

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
危機管理対応能力 育成研修会	1	7月31日(金) PM 玉縄学習センター 分室 第3集会室	(食物アレルギー対応について) 湘南鎌倉総合病院小児科専門医・アレルギー専門医 三宅 隆太 氏	各校1名 ※中止
食育研修会	1	8月24日(月) PM 坂ノ下海岸・鎌倉 漁業組合会議室	(鎌倉の漁業について体験及び講義) 鎌倉漁業協同組合長 原 実 氏	※中止
人権教育研修会	1	8月17日(月) AM 鎌倉市福祉センター	「子どもたちの生きづらさとは～つながりから考える自殺対策」 ヘルスプロモーション推進センター・医師 岩室 紳也 氏	各校1名 28名 (小18中10)
コンピュータ研修 会	1	8月7日(金) AM 御成小学校	「GIGAスクール構想の現状とこれからの学校教育」 株式会社 情報通信総合研究所 特別研究員 平井 聡一郎 氏 鎌倉市教育委員会 指導主事	各校1名 77名 会場(小17中11) わらわ(小30中19)
	2	8月18日(火) PM 御成小学校	「G suiteをまずは校務で活用するヒント」 株式会社エデュテクノロジー 阪上 吉宏 氏・田代 範夫 氏 鎌倉市教育委員会 指導主事	各校1名 80名 会場(小18中11) わらわ(小32中19)
	3	12月28日(月) PM 御成小学校 *計画時から日程変更	「教育をアップデートしよう～一人一台iPadでひろがる世界～」 さとえ学園小学校 教諭 山中 昭岳 氏	各校1名 25名 (小16中9)
鎌倉郷土研究研修 会	1	7月29日(水) AM 浄智寺	(浄智寺見学、講話、座禅体験等) 浄智寺住職 朝比奈 恵温 氏 氏	※中止
	2	7月29日(水) PM 鎌倉能舞台	(能の鑑賞及び体験) 鎌倉能舞台 中森 貫太 氏	※中止
	3	7月31日(金) AM 現地	(鎌倉の史跡・寺社等を巡る) NPO法人鎌倉考古学研究所 考古学者 玉林 美男 氏	※中止
教師力向上研修会	1	7月22日(水) AM 大船学習センター 第1・2集会室	(若手教員向け教師力向上講座) 湘南三浦教育事務所教育指導員 鎌倉市教育指導員	※中止
	2	7月22日(水) PM 大船学習センター 第1集会室	「授業に役立つ！先生のための英語力向上セミナー」 (仮) 株式会社イーオン 窪田 遼 氏	※中止
	3	8月18日(火) AM 大船学習センター 第1集会室	「距離は離れても心をつなぐ『傾聴力』」 (株)リファイン代表取締役社長 下平 久美子 氏	23名 (小19中4)
幼・こ・保・小連携 研修会	1	6月24日(水) PM 植木小学校	(小学校参観及び協議会)	小各校1名 ※中止
	2	(夏季休業中)	(保育園参観及び協議会)	
幼児教育研修会	1	8月24日(月) AM 御成小学校 ランチルーム	「子どもの成長を育むわらべうた遊び」(仮) わらべ歌講師 小林 由美子 氏	小各校1名 ※中止
事故・不祥事防止研 修会	1	7月30日(木) AM 大船学習センター 第1集会室	「信頼される教職員を目指して～日常的な取組からの不祥事防止～」(仮) 神奈川県教育委員会 行政部 教職員人事課	各校1名 ※中止

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	備考
教育課題研修会	1	8月25日(火) AM 玉縄学習センター 分室 第3集会室	(子どもたちの自己肯定感を育む教育) 日本ウェルネススポーツ大学 教授 近藤 卓 氏	各校1名 ※中止
	2	8月25日(火) PM 玉縄学習センター 分室 第3集会室	(特別な支援を必要とする子どもへの手立て～愛着障害～) 聖学院大学心理福祉学部 特任講師 大橋 良枝 氏	各校1名 ※中止

***新型コロナウイルス感染防止のため**

- ・1学期中に開催予定だったセンター企画研修会の中止
- ・夏季休業期間の変更により、7月21日～7月31日、8月24日～8月31日の研修会の中止
- ・密を防ぐため、参加人数の限定及びオンライン受講の実施

【学校支援研修会】 *新型コロナウイルス感染防止のためR2年度は実施なし

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
授業づくり研修会	1	5月22日(金) PM 稲村ヶ崎小学校	(国語科の模範授業及び新学習指導要領における評価について) 山梨大学大学院 総合研究部 教育学域 准教授 茅野 政徳 氏	※中止
	2	5月29日(金) PM 腰越小学校	(外国語科・外国語活動の授業づくりについての模範授業及び講義) 東京学芸大学 教授 粕谷 恭子 氏	※中止
	3	12月1日(火) PM 富士塚小学校	「ワークショップ『世界がもし100人の村だったら』」(仮) 開発教育協会DEAR 岩岡 由季子 氏	※中止
	4	(日程調整中) 関谷小学校	「表現することを楽しむ子を目指して～『書くこと』の指導法について～」(仮) 山梨大学大学院 総合研究部 教育学域 准教授 茅野 政徳 氏	※中止
教育課程研修会	1	5月12日(火) PM 第一小学校	「主体的・対話的で深い学びを促す学習形態の工夫～教科横断的な視点で6年間を見通した授業づくり～」(仮) 玉川大学 教師教育リサーチセンター教職サポートルーム 客員教授 林 紋子 氏	※中止
	2	5月21日(木) PM 西鎌倉小学校	(新学習指導要領における授業づくりについて) 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	※中止
	3	6月23日(火) 玉縄中学校	「新学習指導要領・教科横断的な資質能力『問題発見・解決』学習の展開」(仮) 玉川大学 教師教育リサーチセンター教職サポートルーム 客員教授 林 紋子 氏	※中止
	4	6月25日(木) 山崎小学校	(「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりについて) 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	※中止
	5	8月20日(木)AM 御成小学校	(新学習指導要領に伴う授業づくりの視点) 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏 *御成小・御成中・稲村ヶ崎小の合同研修会として実施	※中止
	6	8月27日(木)AM 深沢中学校	(カリキュラムマネジメントやグランドデザインの作成について) 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	※中止

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	備考
教育課程研修会	7	9月8日(火)PM 第一中学校	(カリキュラムマネジメントと学習評価について) 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	※中止
	8	11月9日(月)PM 大船中学校	(「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について) 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	※中止
	9	(日程調整中) 御成中学校	(「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりについて) 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	※中止
児童生徒理解研修会	1	7月17日(金)PM 七里ガ浜小学校	(一人ひとりにあった学びについて ～合理的配慮～) LITALICO研究所 所長 野口 晃菜 氏	※中止
	2	9月11日(金)PM 玉縄小学校	(発達障害のある児童の理解について) 明星大学 教育学部 星山 麻木 氏	※中止
	3	10月21日(水)PM 第二中学校	(生徒の支援に係る理解を深め、生徒指導上の諸問題への対応力向上) 大草心理臨床・教育相談室「おーぷん・ラボ」 主宰 大草 正信 氏	※中止
	4	(日程調整中) 植木小学校	(どの児童も存在感をもって学べる授業づくり) たすく鎌倉教室 室長 大久保 直子 氏	※中止
教科等研修会	1	5月15日(金)PM 小坂小学校	(小学校外国語の授業づくりと学びの深め方) 小学校テーマ別英語教育研究会 (ESTEEM) 主宰 町田 淳子 氏	※中止
	2	6月15日(月)PM 今泉小学校 *日程変更の可能性あり	(道徳科の授業づくりについての模範授業及び講義) 筑波大学附属小学校 教諭 加藤 宣行 氏	※中止
	3	7月7日(火)PM 腰越中学校	(道徳性の諸様相を深めるために有効な中心発問や授業の展開方法について) 文教大学 国際学部 教授 赤坂 雅裕 氏	※中止
教育課題研修会	1	7月15日(水)PM 手広中学校	(学校の働き方改革と教職員の意識改革) 学校業務改善アドバイザー 妹尾 昌俊 氏	※中止

※中止決定時に計画・調整中だった学校 4校(第二小、深沢小、大船小、岩瀬中)

イ 基本研修

研修名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	参加者
初任者研修 *宿泊研修は中止 *感染症拡大予防対策をとり、研修方法等を一部変更して全4回実施	1	4月8日(水)PM 鎌倉商工会議所301 会議室	講話・オリエンテーション・教職基礎研修等 鎌倉市教育センター所長	初任者研修対象者 8名(小6 中2)
	2	8月20日(木)AM 教育支援教室ひだまり1階会議室	自然体験学習 講義・演習 五感教育研究所 室長 高橋 良寿 氏	初任者研修対象者 8名(小6 中2)
	3	8月21日(金)PM 教育支援教室ひだまり1階会議室	児童生徒理解と教育相談 鎌倉市教育委員会指導主事 教師力向上 鎌倉市教育指導員	初任者研修対象者 8名(小6 中2)
	4	2月2日(火)PM オンライン開催	教育長講話・SDGsと学校教育について・研修の総括 等 教育長・教育センター指導主事	新規採用教員及び事務職員の希望者
	年度内		研究授業(指導主事が参観)、校内授業研究会、他校訪問を各学校で実施	初任者研修対象者
1年経験者研修	1	1月29日(金)PM オンライン開催	事故・不祥事防止研修 インクルーシブ教育に関する研修 協議会	1年経験者研修対象者 20名(小10中10)
	2	年度内	研究授業(指導主事が参観)の実施	
	3	年度内	指定された研修会から1講座受講 ※机上研修含む	
2年経験者研修	1 2	年度内	鎌倉市教育センター主催の「学校支援研修会」から2講座選択して受講 ※机上研修含む	2年経験者研修対象者 22名(小11中11)
拠点校指導教員連絡会	1	4月21日(火)PM 第一小学校	職務について 初任者研修の研修内容・研修の進め方について	拠点校指導教員
	2	7月7日(火)PM 富士塚小学校	初任者についての情報交換	拠点校指導教員 教育指導員
	3	11月24日(火)PM 第一小学校		
	4	2月16日(火)PM オンライン開催		

ウ 教育指導員の派遣

教育指導員を派遣し、学級経営や授業づくり等について、スキルアップを目指す教職員のサポートを行う。

派遣校数 (延べ校数)	25	21	22	21	13	22	20	20	20	20	20	16	240校
指導対象者 (延べ人数)		44	49	47	30	49	49	49	48	47	46	40	498名

エ GIGA スクール校内研修会（令和２年度新設）

- （ア）目 的 GIGA スクール構想による市立小中学校へのタブレットの一人一台の導入に伴い、タブレットを日常的に教育活動に生かす方法を身に付ける
- （イ）対 象 小中学校 全 25 校（各学校を会場に実施）
- （ウ）内 容 iPad の管理や運用面のルール、授業や校務での活用方法、G suite について等
- （エ）日 程 ２学期以降実施

【GIGA スクール校内研修会】

	学校名	期日	テ ー マ等	参加者
1	第一小学校	３月４日（木）	No.1 学校が独自に設定したテーマ ～Clipsの使い方～	28名
2	第二小学校	12月24日（木）	No. 1 学校が独自に設定したテーマ ～明日から使えるG Suite 初心者編～	23名
3	御成小学校	11月25日（水）	No. 1 学校が独自に設定したテーマ 『GIGAスクール構想におけるG Suite活用の意義とその具体』	25名
4	稲村ヶ崎小学校	12月21日（月）	No.18 みんなでいっしょに文書をつくろう！ ～学習予定表を学年の先生たちで一緒に書く～	15名
5	腰越小学校	３月１日（月）	No. 2 学習支援アプリを使ってみよう！ ～スカイメニュークラウドの使い方について～	20名
6	深沢小学校	２月24日（水）	No.16 G SUITEを始めよう！ ～すべてのG SUITEサービスを始めるためにまずログイン～	33名
7	小坂小学校	11月26日（木）	No. 1 学校が独自に設定したテーマ ～スプレッドシートとスライドを使ってみよう～	23名
8	玉縄小学校	２月18日（木）	No. 8 いろいろなデータをみんなでシェアしよう！ ～配線なしで先生が子どもたちにデータを送る・子どもたちが作品を提出する～	20名
9	大船小学校	１月20日（水）	No.16 G SUITEを始めよう！ ～すべてのG SUITEサービスを始めるためにまずログイン～	29名
10	山崎小学校	11月５日（木）	No.17 Googleドライブでファイルを管理しよう！ ～ファイルをアップロード・共有・新規作成する～	28名
11	今泉小学校	２月15日（月）	No.22 確認テストを作成して授業づくりにいかそう！ ～確認テストを自動採点し、瞬時に結果を把握する～	23名
12	西鎌倉小学校	１月22日（金）	No.1 学校が独自に設定したテーマ ～iPadを活用した授業づくり～	24名
13	七里ガ浜小学校	１月12日（火）	No. 8 いろいろなデータをみんなでシェアしよう！ ～配線なしで先生が子どもたちにデータを送る・子どもたちが作品を提出する～	12名
14	富士塚小学校	２月５日（金）	No. 8 いろいろなデータをみんなでシェアしよう！ ～配線なしで先生が子どもたちにデータを送る・子どもたちが作品を提出する～	17名
15	関谷小学校	２月26日（金）	No. 2 学習支援アプリを使ってみよう！ ～スカイメニュークラウドの使い方について～	16名
16	植木小学校	12月22日（火）	No.16 G SUITEを始めよう！ ～すべてのG SUITEサービスを始めるためにまずログイン～	19名

【GIGA スクール校内研修会】

	学校名	期日	テ ー マ 等	参加者
17	第一中学校	11 月 11 日 (水)	No.24 グループをつくってみよう！ ～学年・教科・分掌チーム・学校全体、いろいろなグループをつくって、データの共有を簡単に～	13名
18	第二中学校	3 月 18 日 (木)	No. 1 学校が独自に設定したテーマ ～AirDropやKeynoteの活用～	14名
19	御成中学校	3 月 29 日 (月)	No.23 習熟度をみとって授業づくりにいか そう	27名
20	腰越中学校	1 月 5 日 (火)	No. 8 いろいろなデータをみんなでシェアしよう！ ～配線なしで先生が子どもたちにデータを送る・子どもたちが作品を提出する～	22名
21	深沢中学校	2 月 12 日 (金)	No.17 みんなでいっしょに文書をつくろう！ ～学習予定表を学年の先生たちで一緒に書く～	31名
22	大船中学校	12 月 17 日 (木)	No. 2 学習支援アプリを使ってみよう！ ～スカイメニュークラウドの使い方について～	35名
23	玉縄中学校	11 月 16 日 (月)	No.16 G Suiteを始めよう！ ～すべてのG Suiteサービスを始めるためにまずログイン～	33名
24	岩瀬中学校	2 月 8 日 (月)	No. 8 いろいろなデータをみんなでシェアしよう！ ～配線なしで先生が子どもたちにデータを送る・子どもたちが作品を提出する～	25名
25	手広中学校	3 月 8 日 (月)	No.17 Googleドライブでファイルを管理し よう	24名

【特設研修会】 (令和2年度特設・教育指導課と共催)

	研修会名等	期日・会場	内容等	参加者
1	e ライブラリによるオンライン学習支援研修会	4 月 30 日 (木) 御成小学校	・教師用 I Dを使用したログインの仕方 ・児童の家庭学習の進め方 ・教師による児童の家庭学習の管理の仕方 ライオンズ株式会社 齋藤 雅美 氏	<u>各校 1 名</u> 25名 (小16中9)
2	Webex によるオンライン生活支援研修会	5 月 8 日 (金) 御成小学校	・教師用 I Dを使用したログインの仕方 ・児童生徒のログインの仕方 ・Webexの機能について 等 教育指導課・教育センター指導主事	<u>各校 1 名</u> 25名 (小16中9)
3	G SUITE 管理コン ソール研修会	10 月 28 日 (水) 御成小学校	・管理コンソールの説明 株式会社エデュテクノロジー 阪上 吉宏 氏	<u>全小中校長</u> 25名 (小16中9)

□ 令和2年度 研修会参加数一覧（令和3年(2021年)3月1日現在）						
	回数	参加人数				
		小	中	園	他	合計
全ての研修会合計	33 回	497 名	302 名	0 名	0 名	799 名
学校支援研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
市教育センター企画研修会	5 回	94 名	51 名	0 名	0 名	145 名
GIGA スクール校内研修会	25 回	355 名	224 名	0 名	0 名	579 名
特設研修会	3 回	48 名	27 名	0 名	0 名	75 名
夏休み中の研修	4 回	78 名	42 名	0 名	0 名	120 名
授業中の研修	29 回	419 名	260 名	0 名	0 名	679 名
危機管理対応能力育成研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
理科・総合等研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
食育研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
人権教育研修会	1 回	18 名	9 名	0 名	0 名	27 名
コンピュータ研修会	3 回	57 名	38 名	0 名	0 名	95 名
鎌倉郷土研究研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
教師力向上研修会	1 回	19 名	4 名	0 名	0 名	23 名
幼・こ・保・小連携研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
幼児教育研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
事故・不祥事防止研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
教育課題研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
授業づくり研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
教育課程研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
児童生徒理解研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
教科等研修会	0 回	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名

史跡指定地の公有地化を進めるにあたっての基本方針

鎌倉市教育委員会 教育文化財部 文化財課

史跡指定地の買収による公有地化にあたっては、下記に基づき、予算の範囲内で進めていくものとする。

1 対象とする史跡

- (1) 国指定史跡
- (2) 神奈川県指定史跡
- (3) 鎌倉市指定史跡

※補助金等の活用を勘案し、優先順位は(1)～(3)の正順とする。

2 公有地化の決定に係る考え方

(1) 所有者の希望

所有者からの要望を前提として買収を進める。

(2) 対象地の状況に応じた優先順位

対象となる土地の状況に応じ、以下に掲げる項目順に優先順位を決定する。

ア 史跡の保護を優先的に図るべき土地

(ア) 他法令等による規制がなく、史跡の本質的価値に影響を及ぼす具体的な開発計画等がある土地

(イ) 他法令等による規制がなく、将来的に史跡の本質的価値に影響を及ぼす開発等の可能性がある土地

a 市街化区域にある土地

b 市街化調整区域にある土地

イ 史跡の公開活用のために必要な土地

(ア) 整備計画があり、公開活用を進めていくにあたって公有地化が不可欠な土地

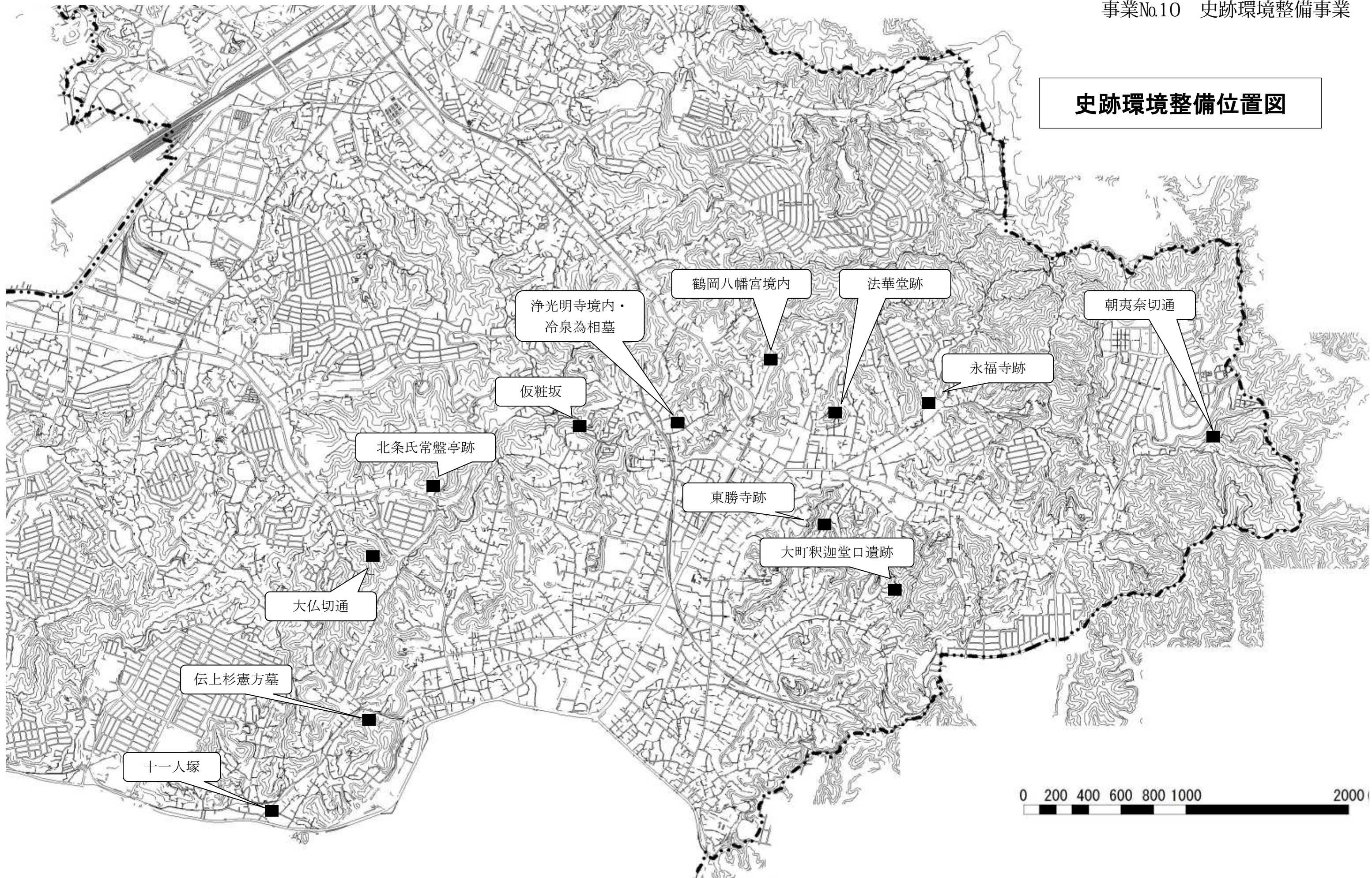
(イ) 暫定的な史跡の公開活用にあたって公有地化が必要な土地

3 公有地化計画の策定

本方針に基づき、具体的な公有地化計画を教育文化財部長決裁により、毎年度策定することとする。

平成29年4月28日 教育長決裁

史跡環境整備位置図



永福寺略年表

(出典：『吾妻鏡』(別記を除く))

文治5年(1189)

- 7月19日 頼朝、奥州藤原氏と戦うために鎌倉を出発する。
- 12月9日 頼朝、奥州平泉で見た諸堂に感激し、永福寺建立を決める。

建久2年(1191)

- 2月15日 頼朝、永福寺を建てる場所を決めるため、大倉周辺を探す。

建久3年(1192)

- 1月21日 頼朝、二階堂建設現場で土工事を見る。
- 8月27日 頼朝、庭造りの専門家、静玄を京都から招き、庭石の配置について相談する。
- 9月11日 静玄、庭の池に石をならべ、頼朝はこの様子を見学する。
- 10月29日 二階堂の扉と仏背後の壁画が完成する。奥州毛越寺の金堂(円隆寺)の壁画を模す。
- 11月13日 頼朝、庭石の置き方に満足せずやり直させる。
- 11月25日 二階堂完成、導師は三井寺の公顕。

建久5年(1194)

- 12月26日 新造薬師堂完成。導師は前権僧正勝賢。二階堂、阿弥陀堂、薬師堂の三堂がそろう。

正治元年(1199)

- 正月13日 頼朝、53才で没する。
- 9月23日 頼家、永福寺で蹴鞠を行う。

正治2年(1200)

- 閏2月29日 頼家、釣殿で遊ぶ。

建暦元年(1211)

- 4月29日 実朝、時鳥の声を聞くために訪れるが聞けずに空しく帰る。

建保2年(1214)

- 3月9日 実朝、永福寺で桜の花見。

建保5年(1217)

- 12月25日 実朝、永福寺僧坊で終夜歌会を行う。

寛喜元年(1229)

- 3月15日 頼経、花見。
- 10月26日 頼経、蹴鞠、歌会を行う。

貞永元年(1232)

- 11月29日 頼経、雪見、釣殿で歌会を行う。

寛元3年(1245)

- 10月12日 頼経、如法経を永福寺奥山に納める。

宝治元年(1247)

- 6月5日 三浦の乱、三浦光村、永福寺惣門の内側に陣をかまえる。

建長2年(1251)

- 3月10日 頼嗣、永福寺で花見。

文応元年(1260)

- 2月18日 宗尊親王、桜の花を見る。

弘安3年(1280) (『北条九代記』)

- 10月28日 鎌倉大火で、二階堂焼失。

延慶3年(1310) (『北条九代記・見聞私記』)

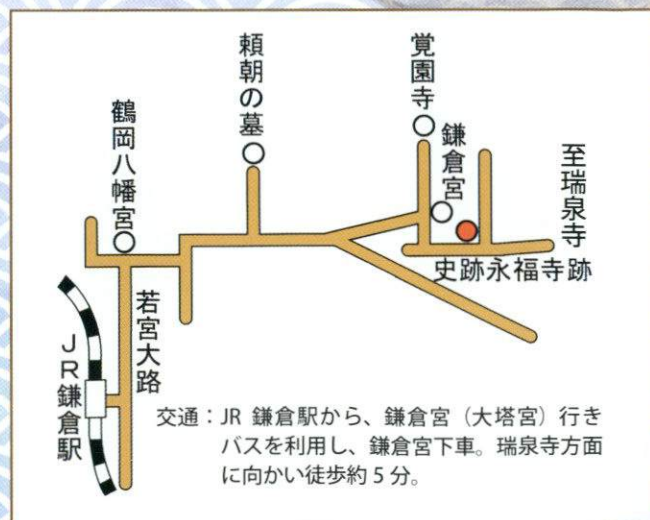
- 11月6日 浜辺の火の手で二階堂、大門、鐘楼が焼け落ちる。

元弘3年(1333) (『梅松論』)

- 5月 北条一族滅亡後、千寿王が別当坊に滞在。

応永12年(1405) (『鎌倉大日記』)

- 12月17日 永福寺炎上する。



国指定
史跡

よう ふく じ あと
永福寺跡

1. 建立の目的

永福寺は、源頼朝が文治5年(1189)に奥州平泉を攻めた後、戦いで亡くなった数万の将兵の鎮魂のために建てた寺院です。頼朝は、平泉で毛越寺や中尊寺を見て、永福寺の建立を思いついたとされています。

2. 境内

頼朝が征夷大將軍に任命された建久3年(1192)に中心の二階堂が完成しました。この堂の名は、現在の地名(二階堂)ともなっています。

建久5年(1194)までに、二階堂の両脇の阿弥陀堂、薬師堂が完成します。この三つの堂を中心に惣門、南門、釣殿、多宝塔、鐘楼、僧坊などの建物があったとされ、当時の旅日記などの文献には「その姿形は極楽の様子をそのまま表したようだ」と形容されています。二階堂の本尊は釈迦如来と考えられ、阿弥陀堂の阿弥陀如来、薬師堂の薬師如来と併せて三尊を祀る寺院でした。

頼朝の没後、頼家、実朝以下歴代の將軍たちは、境内で華やかな行事(蹴鞠、酒宴、花見、雪見、歌会等)を行うようになり、永福寺は幕府のサロンとして使われていくようになります。

鎌倉時代中期には大きな修理が行われ、鎌倉時代後期には二度にわたる火災に遭い、消失、再建を繰り返しました。応永12年(1405)12月の火災では主な建物が焼け落ち、その後しばらくして記録が途絶えてしまいます。この火災の後には再建されることなく、廃絶してしまったと考えられます。

3. 整備事業

当時の絵図などがなく、堂の規模や配置などは分かっていませんでしたが、昭和58年～平成8年にかけて中心域約15,800㎡の発掘調査が行われ、中心の二階堂、阿弥陀堂、薬師堂のほか、複廊、翼廊、釣殿、橋、庭園の規模や配置が明らかになりました。この成果から、永福寺は全国的に見ても有数の規模を持つ、当時の代表的な寺院であったことが分かりました。鎌倉市では、史跡指定地の公有化を進めるとともに、平成19年からは、調査成果を基にした建物の基壇(基礎)と庭園の復元など、永福寺跡の環境整備事業を実施してきました。

建物跡の表示

頼朝や政子らが踏みしめた当時の地面の上に、厚さ60cmの盛土をして遺跡を保護しながら、同じ位置に二階堂、阿弥陀堂、薬師堂の基壇を創建当時と同じ木製で再現しています。それぞれの堂を結ぶ廊下や釣殿は、礎石を設置して平面の形を示しています。使用している木材、石材は、調査で発見された材質と同じものを新たに設置しています。

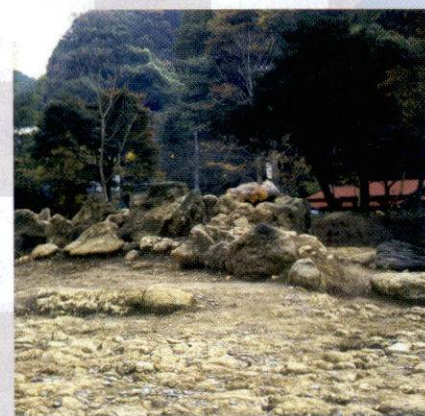
庭園の整備

池も30cmのかさ上げをして、鎌倉時代の池を保護しながら再現しています。水際は浜砂利を敷き詰めて海浜の様子を復元し、庭石はできる限り本物を露出展示しています。本来の池はさらに東の道路側へ広がることが分かっていますが、復元ができないため、暫定的に板柵の護岸で池を区切っています。

発掘調査の 成果と整備の状況



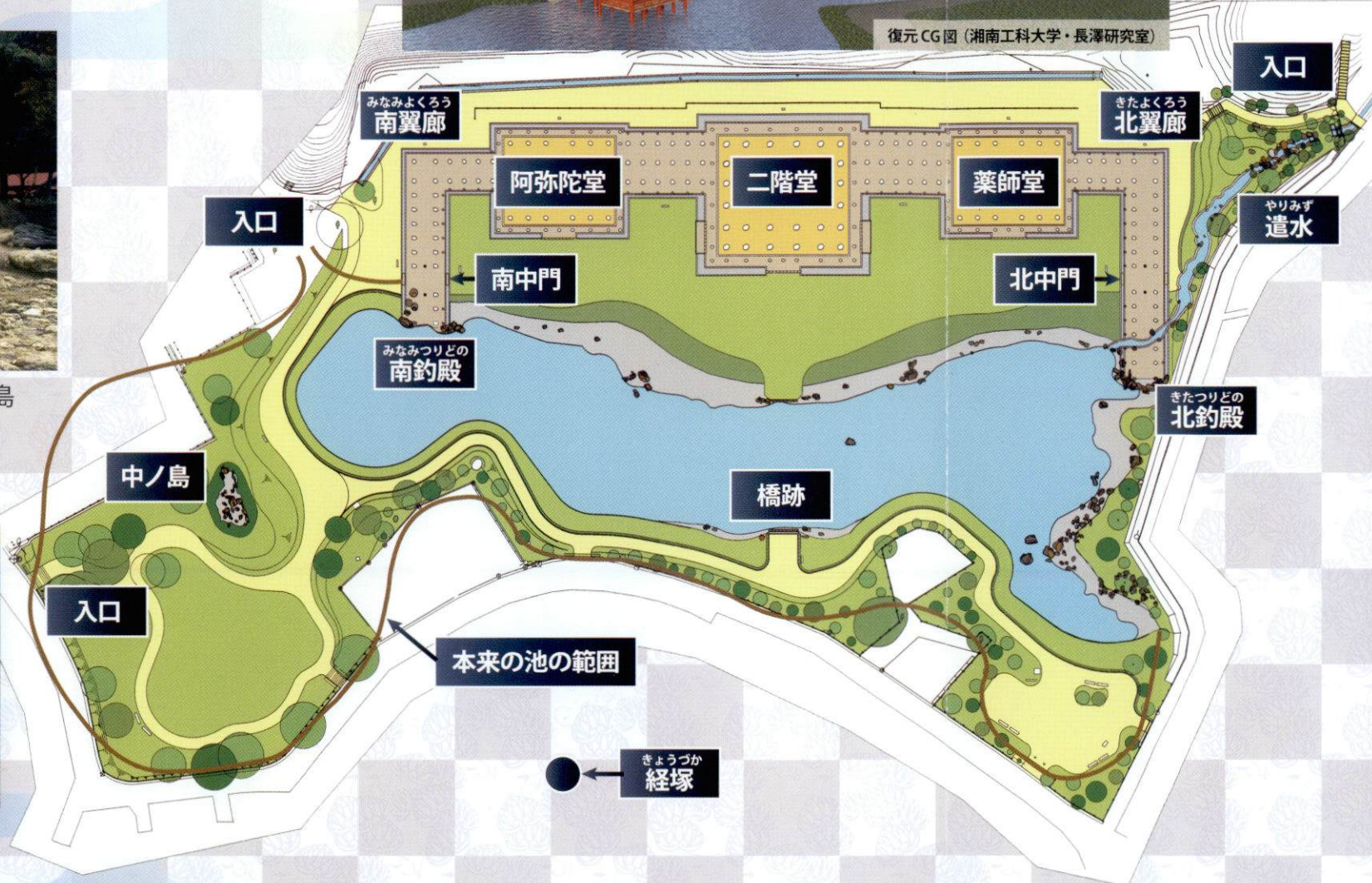
北翼廊の調査



埋め戻されている中ノ島



経塚で発見された
銅製経筒



薬師堂前の水際の瓦溜まり



遣水の流路の調査



池東岸の橋脚



北岸の石組み



薬師堂の調査

令和2年度(2020年度)市史編纂事業 資料

ー近代史資料担当の事業ー

昭和52年4月、鎌倉の近代史（幕末以降～昭和40年代位まで）に関する資料を収集・整理・保存・提供するため、中央図書館内に「鎌倉近代史資料収集室」を開設し、郷土史家を嘱託として配置して事業を開始しました。その後名称を「近代史資料室」に変更し、郷土史家・事務補助嘱託員およびアルバイトで事業を継続してきました。

平成24年度、それまで市役所総務部総務課で担当していた「市史編さんに関する事務」を図書館が補助執行することになり、それに伴って歴史的公文書に関する業務も行うことになりました。そのため中央図書館内の組織変更をし、「近代史資料担当」を設け、兼務ではありますが図書館職員（担当係長）1名を配置しました。

平成24・25年度に総務課と協議しながら選別基準とガイドラインを作成、平成26年度から歴史的公文書選別の試行をして、令和2年度は試行7年目となりました。また、平成28年度と平成30年度から、歴史的公文書選別のための専門的な非常勤嘱託員を各1名（月10日）、配置しました。

図書館が収集、保存する資料は図書資料が主ですが、近代史資料担当では、図書資料だけではなく、近代以降の鎌倉に関するさまざまな文献資料（古文書・古地図・写真等）・文物（高札・マンホールの蓋・かるた・テレホンカード等）を収集・保存しています。また、聞き取り調査等を実施し、鎌倉の近代に関する情報も収集しています。これらの資料や情報をもとに調査・研究を進め、報告書としてまとめたり、中央図書館3階展示コーナーや鎌倉駅地下道ギャラリー50等で展示したりして皆さんに公開しています。

【令和2年度の実績】

■ 近代史資料室だより第6号発行

令和2年4月

■ 近代史資料収蔵庫資料整理（中央図書館3階）

令和元年7月にできた近代史資料収蔵庫内の資料の整理、目録作成を行っています。

■ 図書館ホームページに『古都鎌倉へのまなざし（写真展より）』

『鎌倉アカデミアの軌跡』『第18回オリンピック東京大会～聖火リレーと鎌倉市の取り組み～』を掲載し、デジタル資料「絵葉書」に明治・大正・昭和の絵葉書261点をアップしました。

■ 展示（市役所本庁舎1階ロビー）

令和2年7月31日～8月14日

「1964年オリンピック聖火リレー、鎌倉市のとりくみ」

■ ミニ展示（中央図書館1階展示コーナー）

令和3年3月10日～4月16日

「東京オリンピック1964/オリンピック記念 ドイツカシワの木」

■ 「歴史的公文書保存のための選別」 試行 7 年目

収集箱数： 206箱

上記資料を確認し歴史的公文書であると判断したもの： 110箱

【これまでに発行した出版物】

■ 「鎌倉近代史資料」

第 1 集	『人物篇』	昭和53年度刊
第 2 集	『近代鎌倉の地名』	昭和56年度刊
第 3 集	『鎌倉のことば』	昭和63年度刊
第 4 集	『十二所小長井日記』	平成 4 年度刊
第 5 集	『鎌倉の社寺門前町』	平成 2 年度刊
第 6 集	『鎌倉の俳人』	平成 3 年度刊
第 7 集	『鎌倉の野仏』	昭和62年度刊
第 8 集	『山ノ内村御用留』	平成元年度刊
第 9 集	(未刊)	
第10集	『大街堂日記』上・下	昭和57・58年度刊
第11集	『実朝の風景』	平成 5 年度刊
第12集	『青春・鎌倉アカデミア』	平成 8 年度刊
第13集	『幻の田園都市から松竹映画都市へ』	平成16年度刊
第14集	『大街堂日記』	平成17年度刊
第15集	『鎌倉郡岩瀬村御用留』	平成29年度刊

■ 「近代史資料室だより」 1 号～ 6 号

■ その他

- ① 『鎌倉・太平洋戦争の痕跡』（平成15年度刊） C P C の会と共著
- ② 『鎌倉アカデミア』落穂集（平成18年度刊） 鎌倉アカデミアを伝える会と共著
- ③ 『鎌倉大町昔の町並み』（平成18年度刊）
- ④ 『鎌倉谷戸の記録』上・下（平成20年度刊） C P C の会と共著
- ⑤ 『鎌倉震災手記－98人が綴る鎌倉の関東大震災記録－』（平成28年度刊）
- ⑥ 『鎌倉谷戸の記録』続 上（大船・玉縄編）・下（深沢・腰越編）（平成30年度刊）

【主なコレクション】○…コレクション目録作成済

番号	目録	資料群名	資料の概要
1	○	相澤家資料	相澤善三氏旧蔵鎌倉小学校・鎌倉国宝館関係写真アルバム 明治期
2		青木家資料	青木幸蔵日記 明治期円覚寺洪鐘祭記録（山ノ内）
3	○	五十嵐家資料	五十嵐英壽氏撮影鎌倉市内風物報道写真 昭和期
4	○	石橋家資料	石橋湛山氏旧蔵「湘南倶楽部」記録（御成町）
5		伊藤家資料	伊藤成彦氏著作及び寄贈書籍 昭和・平成期
6		岩壁家資料	岩壁喜明氏旧蔵五榜の掲示高札・古文書（寺分）
7		岩澤家資料	岩澤良治氏旧蔵戦時中資料（千人針他）（極楽寺）
8	○	植木家資料	劇画師植木金矢氏作品（日本画）「静の舞」等4点
9	○	大津家資料	大津公男氏旧蔵明治期農業日記・「栗船邸戸長役場」表札・古文書（大船）
10		大船田園都市資料	『田園図集』・パンフレット・展示資料・マンホール蓋など
11	○	落合家資料	幕末明治期古文書（廻状ほか） 落合啓次郎氏・三成氏・修太氏旧蔵（関谷）
12		加藤家資料	加藤幸恵氏旧蔵 華頂宮関係写真（浄明寺）
13	○	金子家資料	金子晋氏収集鎌倉カーニバル他写真アルバム 明治・大正・昭和期
14	○	鎌倉アカデミア関係資料	鎌倉アカデミア事務局旧蔵資料 「鎌倉大学入学案内」「廃校始末記」他
15		鎌倉海浜ホテル関係資料	シーサイドテニスクラブ・個人旧蔵 趣意書・ホテルパンフレット・額装油絵ほか
16		鎌倉カーニバル関係資料	復活カーニバル写真アルバム・賞状・楯
17	○	鎌倉市史資料	写真版 社寺及び民有文書 577冊
18		鎌倉市体育課資料	都道府県対抗鎌倉一周継走大会プログラム、東京オリンピック(1964)
19		鎌倉市民アカデミア資料	「42年の歩み」1976年～2017年
20	○	「鎌倉逗子こども劇場」資料	鎌倉逗子こども劇場記録1988年～2005年
21		鎌倉図書館百年史資料	『鎌倉図書館百年史』所収資料 明治・大正・昭和・平成期（御成町）
22	○	鎌倉盆踊歌資料	応募歌詞他 昭和初期
23		上森家資料	上森子鉄氏旧蔵写真アルバム ミスカーニバルほか
24	○	関東大震災資料	鎌倉町役場旧蔵 被害・復興記録等 大正期
25		岸家資料	岸美重子氏旧蔵小原牧場写真、牛乳瓶他（材木座）
26		木村家資料	木村彦三郎氏旧蔵資料 「さいぎょう」札等
27	○	久米家資料	久米正雄氏旧蔵鎌倉町議会関係資料（二階堂）
28	○	栗田家資料	栗田文四郎氏旧蔵幕末明治期文書 反別帳他（山ノ内）
29		栗田家資料	江戸期岩瀬村御用留（複製）（岩瀬）
30		月刊「鎌倉市民」資料	主幹原実氏旧蔵資料
31	○	元治苑資料	神田コークス石炭契約書他 明治・大正・昭和期（二階堂）
32	○	小坂家資料	小坂勝代氏・小坂正子氏旧蔵幕末明治期古文書・書籍（植木）
33		後藤（邦栄堂）家資料	邦栄堂店舗及び周辺写真・絵葉書（小町・雪ノ下）
34		小袋谷町内会資料	明治期切絵図・昭和前期町内会記録（複製）（小袋谷）
35		小牧家資料	鎌倉宮関係古文書・日記 江戸・明治期（二階堂）
36		駒木家資料	俳優宇佐美淳氏写真アルバム（佐助）
37	○	小丸家資料	小丸俊雄氏旧蔵江戸期英勝寺御用留他
38	○	佐草家資料	佐草金次郎氏作品 鎌倉市内各所水彩画
39		澤家資料	澤寿郎氏旧蔵 「鎌倉市史 地誌紀行編」資料及び原稿
40		地引図（深沢）	深沢地区明治期地引図（軸装）
41	○	島田家資料	島田裕氏旧蔵鎌倉案内地図他
42		松竹大船映画シナリオ	美術部森田郷平氏旧蔵シナリオ
43	○	商店ちらし	鎌倉市内 昭和30～40年代
44	○	鈴木家資料	鈴木正一郎氏撮影写真 昭和30年～50年鎌倉各地写真約3万点
45		鈴木家資料	鈴木本治氏旧蔵戦時中写真アルバム（寺分）
46		陶山家資料	陶山信男氏撮影「史都鎌倉」写真アルバム
47		清田家資料	「諸國銘茶 日乃出園茶舗」木製看板・明治期商家文書・祭り関係・古書籍（大町）
48	○	関根家資料	関根崇夫氏所蔵江戸時代村政文書（複製）（山崎）
49	○	高橋家資料	高橋好子氏旧蔵「庭訓往来」・写真（極楽寺）
50	○	高橋家資料	「魚倉」木製看板（二階堂）

番号	目録	資料群名	資料の概要
51		高柳家資料	高柳英麿氏撮影・所蔵写真 鎌倉市内昭和・平成期
52	○	武田家資料	武田光比古氏旧蔵 坂ノ下埋立て事業関係（坂ノ下）
53	○	田島家資料	田島浪子氏旧蔵風致保存運動関係資料（佐助）
54	○	立川家資料	立川正幸氏旧蔵 共立社月報「蟻塔」 写真・絵葉書（小袋谷）
55		田中家資料	田中八郎氏旧蔵 幕末明治期村政文書（植木）
56		都筑家資料	都筑健一氏撮影鎌倉カーニバル写真他
57		天馬堂資料	鈴木氏（八巻氏）旧蔵 鎌倉劇場・鎌倉カーニバル写真ほか（大町・由比ガ浜）
58	○	豊原家資料	「鎌倉タイムス」紙関係資料
59	○	内藤家資料	内藤悌三郎氏旧蔵・写真・短冊（大町）
60		永野家資料	永野勝夫氏旧蔵古書・絵図
61		中田家資料	中田實氏旧蔵 戦時中資料（寺分）
62	○	新倉家資料	新倉正夫氏旧蔵明治期文書「萬覚帳」ほか（腰越）
63	○	錦絵	「英雄源平名将寿古六」他
64		俳句帳資料	近代史資料集「鎌倉の俳人」所収 江戸・明治期
65		橋本家資料	橋本恭子氏旧蔵 鎌倉小町園・湘南YWCA関係資料
66	○	原家資料	原七三郎氏旧蔵鎌倉駅周辺風景写真アルバム（小町）
67		林家資料	林邦雄氏旧蔵 江戸・明治期浄妙（明）寺村村政文書
68		平井家資料	平井恒太郎氏旧蔵 江戸・明治期小袋谷村文書（小袋谷）
69	○	平井家資料	平井雅明氏旧蔵 江戸・明治期関谷村文書（関谷）
70		富士愛育園資料	鎌倉市長鈴木富士弥氏旧蔵 古書「粉河寺縁起」（版本）ほか・大礼服等（材木座）
71	○	紅家美術店 山上家資料	商家日記「日毎の覚」（山上花乃） 大正・昭和期（長谷）
72		増澤家資料	増澤華子氏旧蔵 六山ニュース（六地藏-山ノ内道路問題 住民運動）
73		松平家資料	松平幸子氏旧蔵絵葉書手紙ほか 明治・大正期（笹目）
74	○	三河屋資料	昭和期商家文書・判取帳・「酒之通」・徳利他（雪ノ下）
75	○	皆吉家資料	皆吉邦雄氏撮影 北鎌倉周辺風景・催事ほか写真
76	○	向瀬家資料	向瀬夏美氏旧蔵 「鎌倉文明史論」他書籍
77	○	安田家資料	安田三郎氏撮影 鎌倉の仏像・文士・風景写真
78	○	山内家資料	山内英司氏旧蔵 鎌倉カーニバル関係幕・提灯・幟旗など収集資料
79	○	山下家資料	山下文雄氏旧蔵『鎌倉回顧』関係写真
80		山本家（三九）資料	幕末～昭和期商家文書（大町）
81	○	八幡家資料	八幡義生氏旧蔵「国宝史蹟研究会」冊子 地区別郷土研究資料
82	○	吉成家資料	吉成久子氏旧蔵 「青い麦の会」関係資料・市史・報告書等（鎌倉山）
83	○	和漢籍資料	図書館収集資料
84	○	渡辺家資料	渡辺道雄氏旧蔵 明治期扇ヶ谷村関係文書・横須賀線敷設関係など（扇ヶ谷）
85		稲荷講資料（極楽寺中町）	稲荷講幟旗ほか道具（極楽寺）
86	○	大船支所資料	投票所案内板（木製）・旧役場建物付属部材など 大正・昭和期（小袋谷）
87		鎌倉鳶職関係資料	半纏・写真ほか
88		商店マッチラベル資料	鎌倉市内 昭和期
89		水道管（廃管）	小町地区内 廃管の一部（小町）
90		念仏講資料（大船）	大船念仏講道具
91		念仏講資料（雪ノ下）	雪ノ下横町念仏講道具
92	○	廣澤家資料	鎌倉アカデミア関係資料 廣澤榮氏旧蔵 鎌倉大学「扁額」（三枝書）
93		平和都市宣言	大内兵衛書（木製額・パネル）・小島寅雄書（額）
94		レンガ資料	旧大仏坂トンネル使用レンガ（長谷）

【令和2年度 写真等資料提供】実績47件 ～写真提供等 主な提供先～

■展示 3件

- ・鎌倉市役所 東京オリンピック・パラリンピック担当
「1964年オリンピック聖火リレー、鎌倉市のとりくみ」写真展示
- ・鶴岡八幡宮 鎌倉文華館鶴岡ミュージアム展示資料
- ・中原中也記念館「昼夜の住んだ町ー鎌倉ー」

■書籍雑誌新聞等掲載 11件

- ・七里ヶ浜自治会50年記念誌に写真掲載
- ・「かまくら春秋」602号（6月号）に写真掲載
- ・『Kamakura:A Contemplative Guide（鎌倉考）』に写真掲載□
- ・湘南モノレール開業50年誌に写真掲載 2件
- ・環境事業計画研究所『史跡浄智寺境内保存活用計画』に写真掲載
- ・藤沢市文書館『歴史をひもとく藤沢の資料 別巻 中世文書』に口絵挿図掲載
- ・山ノ内瓜ヶ谷町内会「町内会だより」掲載写真使用
- ・柊出版社『持ち歩ける大船本』に写真掲載
- ・昭文社『スリバチの達人 横浜・湘南版』に古地図・絵葉書・写真掲載 2件

■テレビ番組等 7件

- ・BS朝日「極上空間」
- ・NHKBSプレミアム「まいにち養老先生、ときどきまる」2回
- ・日本テレビ「news every」 特集「我ら3代目！家族で守る継承の味」
- ・テレビ東京「風景の足跡」
- ・NHKBSプレミアム「新日本風土記・鎌倉」2回

■その他資料提供 26件

- ・日本大学「鎌倉学」講義資料として
- ・玉縄歴史の会開設ホームページで使用 2件
- ・鎌倉市役所 公的不動産活用課 改修及び増築工事設計 2件
- ・鎌倉市役所 景観課 調査業務
- ・稲敷市 教育政策課 郷土史料調査
- ・竹中工務店 BELCA賞応募添付資料として
- ・写真集国際コンペ応募資料として
- ・鎌倉市役所歴史まちづくり推進担当 公式ツイッター「歴史さんぽ」使用
- ・大船地域づくり会議ホームページ「わがまち大船ニュース」で使用

- ・ 光明寺本堂設計監理事務所 光明寺本堂保存修理工事に伴う資料調査
- ・ 間島夫妻旌徳の会 史料研究のため
- ・ 鎌倉市観光協会ホームページで使用
- ・ オンラインセミナー「全国映画資料アーカイブサミット2021」使用のため
- ・ 二松学舎大学 漢籍研究、田辺松坡旧蔵書研究のため
- ・ 凸版印刷 高德院デジタルアーカイブ作成のため
- ・ 論文等執筆資料として 7 件
- ・ 自宅歴史調査資料として 2 件

令和2年度(2020年度)図書館管理運営事業 資料
一 鎌倉市の図書館の重点事業とその成果一

【新規事業】

1. 中央図書館耐震改修工事

(1) 中央図書館の耐震改修工事を行い、安全に安心して利用できる施設にします。

＊サービス計画 方針Ⅲ 100年図書館

3 危機管理体制の強化

【成果】

・新型コロナウイルス感染症拡大により、令和3年度(2021年度)に延期となりました。

2. 職員の育成とスキルアップ

(1) 研修回数を増やして職員のスキルアップと技術の継承を図ります。

(2) 会計年度任用職員制度の開始を受け、より効率的な運営方針を検討し、市民サービス向上につなげます。

＊サービス計画 方針Ⅲ 100年図書館

4 市民の活動を支える職員の育成

【成果】

・コロナ禍で集合研修ができない制約があったものの、書面や配信など新しい形式を活用したり、定期休館日となった月曜日を活用した研修を行った結果、研修回数は昨年度の4回から14回へ増加しました。

・会計年度任用職員についても研修機会を増やし、各館の状況に応じて担当業務を拡大するなど意欲と能力を活かす仕組みを進めています。

3. ファンタスティック☆ライブラリーのリニューアル

(1) 毎年開催してきたファンタスティック☆ライブラリー(図書館まつり)をリニューアルし、地域や市民と図書館との連携の輪を広げます。

＊サービス計画 方針Ⅱ ひろがる図書館

2 市民とともに

(1) 市民参画と協働、

(2) 市民の声を活かす仕組み

(3) 市民の活動の場や機械の提供

【成果】

・コロナ禍で集会形式の開催ができなくなり、当初予定していたリニューアルはできませんでしたが、参加団体による研究成果の展示・動画やWebでの公開形式で実施しました。

【継続事業】

1. 「第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画」の推進

- (1) 「図書館コンシェルジュ」を配置し、子どもと子どもを取り巻く大人への支援を強化します。
- (2) 環境政策課と連携して、SDGsに関する調べ学習(情報探索技術の向上)の支援を行います。

＊サービス計画 サービス方針Ⅰ つながる図書館

1 図書館ネットワークの構築

(4)連携協力

2 利用者に応じた読書の支援

(1)子どもの読書活動の支援

＊第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画

【成果】

- ・SDGs調べ学習支援として、ごみ減量対策課及びNPO 団体と連携し、ビーチコーミングなどを取り入れた教員研修を実施しました。
- ・環境政策課及びごみ減量対策課と連携して、SDGs啓発に関する巡回展示を各館で行いました。
- ・図書館コンシェルジュの配置については令和3年度(2021年度)に配置できるよう準備を進めました。

2. 市民が利用しやすい運営体制の確立

- (1) これまでの試行結果を踏まえ、より利用実態にあった開館日と開館時間に変更します。

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館

1 図書館ネットワークの構築

(2)開館日及び開館時間の効果的な設定

【成果】

令和2年(2020年)年4月1日より、原則毎週月曜日を休館とし、開館時間を以下のとおり変更しました。

中央図書館:9:30-18:00 平日木・金 9:30-19:00

腰越、深沢、大船、玉縄図書館:8:45-17:15 平日木・金 8:45-19:00

平和都市宣言

われわれは、
日本国憲法を貫く平和精神に基いて、
核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、
全世界の人々と相協力してその実現を期する。
多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、
ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和 3 3 年 8 月 1 0 日 鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和 4 8 年 1 1 月 3 日

前 文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

本 文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

鎌倉市教育委員会 教育文化財部 教育総務課

〒248-0012 鎌倉市御成町 12 番 18 号

TEL 0467-23-3000 内線 2454 FAX 0467-24-5569

MAIL kyouiku@city.kamakura.kanagawa.jp